

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF

2017 9.21 THU 22 FRI 23 SAT 24 SUN

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP
DIAMOND CUP GOLF



選ばれし男達の舞台。



アジアパシフィック オープンゴルフ チャンピオンシップ
ダイヤモンドカップゴルフ 2017
カレドニアン・ゴルフクラブ

[主催] アジア太平洋ゴルフ連盟 8月テレ 三菱商事 日本ゴルフ協会



Contents



P.4-8

大会役員ご挨拶

- P.4 大会名誉会長 三菱商事株式会社 特別顧問 佐々木 幹夫
P.5 大会会長 関西テレビ放送株式会社 代表取締役社長 福井 澄郎
P.6 大会名誉会長 公益財団法人日本ゴルフ協会 会長 竹田 恒正
P.7 大会名誉会長 アジア太平洋ゴルフ連盟 会長 David Cherry
P.8 大会名誉顧問 カレドニアン・ゴルフクラブ 理事長 相馬 仁胤

P.10-12

大会実施要項、賞金・優勝副賞・特別賞、大会役員

P.14 「ダイヤモンドカップゴルフ2016」大会レビュー 評議會が、大逆転で日本初優勝!

歴代の優勝者たち

P.18-28

PLAYERS —主な出場予定選手—

P.30 APGC「アジア太平洋ゴルフ連盟」のご紹介

P.32-34

アジアツアーコースの主な出場選手紹介
アジア&ヨーロッパを主戦場とする強者たち

P.35-41

水巻善典解説 ~コース攻略のポイント & 見どころ~
ショットの正確さとメンタルの強さが勝敗のカギを握る

P.42-43

アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ
チャリティ活動への取り組み

P.44-45

コース全体図・大会ヤードージ・ギャラリーイベント紹介

【主催】

アジア太平洋ゴルフ連盟 三菱商事 日本ゴルフ協会

【特別協賛】

三菱商事 KIRIN 三菱自動車 三菱電機 ダンロップスポーツ
伊藤ハム ケンタッキー・フライド・チキン® 第一三共ヘルスケア 東京海上日動 三菱地所
三菱食品 三菱UFJモルガフ・スター証券 明治安田生命

【協賛】

三菱重工 三菱倉庫

ご挨拶

ご来場の皆様へ



Welcome

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP
DIAMOND CUP GOLF



佐々木 幹夫

MIKIO SASAKI



大会名誉会長
三菱商事株式会社 特別顧問

今年もアジア太平洋ゴルフ連盟、日本ゴルフ協会、関西テレビ放送と共に「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ 2017」を開催する運びとなりました。

本大会は、ゴルフ競技や大会運営を通じて、次世代を担うジュニアゴルファー育成支援や自然環境保全、地域貢献など、チャリティトーナメントとしても長い歴史を歩んでまいりました。

協賛社、出場選手、開催コースやギャラリーの皆様など大会に携わる全ての方々のご協力を頂き、チャリティ活動を行っており、今後も社会そして皆様に寄り添う大会を目標にチャリティ活動に力を注いで参ります。

今年の舞台は、千葉県山武郡のカレドニアン・ゴルフクラブです。

本コースはゴルフ発祥の地スコットランド・リンクス思想に近代的な要素を取り入れ、静寂な佇まいの中にも奥深い戦略性を秘めた難コースです。この表情豊かな自然美溢れるコースでアジア太平洋地区を代表する選手達と国内ツアーで活躍する日本の精鋭達が魅せる、知と技の競い合ひを是非ご堪能ください。

最後に、出場選手皆様のご健闘を祈念とともに、本大会の開催にあたり多大なるお力添えを賜りました開催地千葉県、山武郡をはじめ多くの関係者、ボランティア皆様方、そしてご来場頂きましたギャラリーの皆様にあらためて心より深く感謝申し上げます。

福井 澄郎

SUMIO FUKUI



大会会長
関西テレビ放送株式会社
代表取締役社長

日本を代表する男子ゴルフトーナメント、「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ 2017」にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

1969年にスタートしたこの大会は、これまで48回の開催実績を誇る国内でも屈指の歴史ある大会となりました。3年前に、アジア太平洋ゴルフ連盟、日本ゴルフ協会、日本ゴルフツアーミュージアムとの共催となり、アジア太平洋地域のトッププロ、トップアマチュアが出席する国際色豊かな大会へと生まれ変わりました。

毎年、日本全国の名門コースを会場とするサーキット形式で行われていますが、今年の開催場所は千葉県の名門「カレドニアン・ゴルフクラブ」です。

ゴルフ発祥の地・スコットランドの自然を生かしたコースづくりを原点に、アメリカ人設計士J・マイケル・ポーレットの戦略性の高さを加えた、世界に誇れるゴルフ場として知られています。まさにアジアナンバーワンのゴルファーを決めるにふさわしいコースといえるでしょう。

関西テレビでは系列局を通じて全国の視聴者の皆様に男子ゴルフの魅力をたっぷりと現場からお伝えするつもりです。

最後に、出場される選手の皆様のご健闘を心からお祈りするとともに、本大会の開催にあたり多大なるご尽力を賜りました三菱商事様はじめとします関係各位の皆様に深く感謝いたします。そして、会場にお越し頂きましたギャラリーの皆様にはあらためまして御礼を申し上げます。

ご挨拶

ご来場の皆様へ

竹田 恒正

TSUNETADA TAKEDA



大会名誉会長
公益財団法人 日本ゴルフ協会 会長

本年度の「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップ」は、千葉県山武郡のカレドニアン・ゴルフクラブが舞台となります。本大会の開催にあたり、共催のアジア太平洋ゴルフ連盟の他、三菱商事株式会社、関西テレビ放送株式会社、また競技運営にご協力いただく一般社団法人日本ゴルフツアーミュニケーションズ、アジアネットワークの関係者の皆様に心より御礼申し上げます。2014年からダイヤモンドカップとして開催している本大会は、アジア太平洋地域No.1のプレーヤーを決する試合として、毎年熱戦が繰り広げられています。会場となるカレドニアン・ゴルフクラブは、ゴルフ発祥の地であるスコットランドのリンクス思想のもとJ・マイケル・ポートレット氏の設計により、1990年に開場しました。変化に富む18ホールは、アジア太平洋地域を代表して出場する選手たちの挑戦意欲を掻き立て、白熱した試合が展開されるものと期待しております。ゴルフファンの皆様には、男子ゴルフの魅力である力と技術をご覧いただき、2020年の東京オリンピックへの出場の期待もかかる選手たちの美技をご堪能いただければと思います。

本大会は、永年に渡り、地域貢献とチャリティ精神、さらにはジュニア育成にも力を注いでおります。本年も大会を通じて、日本ゴルフ界の発展に寄与して参る所存です。

最後になりましたが、本選手権の開催に際し、多大なるご協力をいただきました会場のカレドニアン・ゴルフクラブの皆様をはじめ、大会運営を支えて頂く関係各位、ボランティアスタッフの皆様方に感謝申し上げます。

ディビッド・チェリー
DAVID CHERRY



大会名誉会長
アジア太平洋ゴルフ連盟 会長

Welcome
ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP
DIAMOND CUP GOLF



アジア太平洋ゴルフ連盟(APGC)を代表して、「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ」が千葉県のカレドニアン・ゴルフクラブで開催されますことを心より御礼申し上げます。

本選手権の開催にあたり、昨年に統いて多大なお力添えを賜りました三菱商事株式会社、関西テレビ放送株式会社、公益財団法人日本ゴルフ協会、アジアネットワーク、一般社団法人日本ゴルフツアーミュニケーションズの関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

本選手権には、アジア太平洋地域を代表するプロフェッショナル、アマチュアゴルファーが一堂に会し、アジアナンバーワンを決めるべく、毎年、熱戦が繰り広げられております。ご来場いただいた皆様には、是非、世界に躍る選手たちの研鑽を積んだプレーをご堪能いただくとともに、2020年の東京五輪出場も期待される俊英たちの活躍にご注目いただきたいと思います。

本選手権は、アジア太平洋地域のゴルフ発展に多大な貢献を賜っておりますほか、開催地域のチャリティ活動を通じて地域貢献に大きな役割を果たしております。ここに、本選手権開催にご尽力をいただいたおります全ての方々に、感謝申し上げます。

開催コースのカレドニアン・ゴルフクラブ関係者の皆様には、コース整備にご尽力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、アジア太平洋ゴルフ連盟の会長として、ご来場の皆様が本選手権を存分にお楽しみいただけるよう、祈念いたしております。

ご挨拶

ご来場の皆様へ



相馬 仁胤

KIMITANE SOHMA



大会名誉顧問

カレドニアン・ゴルフクラブ
理事長

このたび、カレドニアン・ゴルフクラブにおきまして「アジアンパシフィックオープンチャンピオンシップ ダイヤモンドカップ」が開催される運びとなりました。弊クラブにとりましてまことに光栄に存じ、心から歓迎申し上げます。

「ゴルフはスコットランド海岸のリンクスにはじまり、砂丘と風雨に負けないプレーで強い精神力を培う紳士のゲームである」という理念のもとでカレドニアンは開設されました。

スコットランドのリンクスを研究し、現代的戦略型デザインを取り入れたマイケル・J・ボーレットのドラマチックな芸術的設計は、ゴルフの最終ターゲットであるグリーンを中心に、プレーヤーの技量を最大限に引き出してくれます。ひとつとして類型のホールがない戦略性に富んだ18ホールは生き生きと連携しハーモニーあって続きます。

地球温暖化の激変する自然環境を乗り越えるべくコース課は洋芝グリーンの研究に努め、数年前よりオーガスタ並みの高速グリーンの実現に取り組んできました。本大会でトッププレーヤーがカレドニアンの18ホールをどのように戦略を立てて攻略するか、そしてそこに生まれる素晴らしい熱戦が繰り広げられることをおおいに期待いたします。

ご尽力いただいております三菱商事様に対し深く敬意を表すとともに、関西テレビ、各ゴルフ業界関係、千葉県、横芝光町、芝山町、カレドニアン・ゴルフクラブ会員、ボランティアの皆様に心から感謝申し上げてごあいさつとします。

大会実施要項

大会名称	アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ2017
主 催	アジア太平洋ゴルフ連盟 関西テレビ放送株式会社 三菱商事株式会社
共同主管	公益財団法人日本ゴルフ協会
後 援	公益財団法人日本ゴルフ協会 一般社団法人日本ゴルフツアーミュージアム スポーツ庁 日本ゴルフトーナメント振興協会 株式会社フジテレビジョン 千葉県 横芝光町 芝山町 カレドニアン・ゴルフクラブ
協 力	関東ゴルフ連盟
企画運営	株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ 株式会社アサツー ディ・ケイ
開催日程	2017年9月18日（月・祝）～9月24日（日） 9月18日（月・祝） マンデートーナメント・指定練習日 9月19日（火） アマプロチャリティトーナメント 9月20日（水） 指定練習日 9月21日（木） 第1ラウンド（予選ラウンド） 9月22日（金） 第2ラウンド（予選ラウンド） 9月23日（土・祝） 第3ラウンド（決勝ラウンド） 9月24日（日） 第4ラウンド（決勝ラウンド）
開催場所	カレドニアン・ゴルフクラブ 〒289-1756 千葉県山武郡横芝光町長倉1658 TEL.0479-82-6161
競技方法	参加を承認された132人の競技者が本競技の正式参加者となる。 第1ラウンド 18ホール・ストロークプレー 第2ラウンド 18ホール・ストロークプレー ※36ホールを終り、60位タイまでの者が第3ラウンドおよび第4ラウンドに進出する。 第3ラウンド 18ホール・ストロークプレー 第4ラウンド 18ホール・ストロークプレー ※本競技は36ホール終了をもって成立とする。 ※第2ラウンドの終了後、第3ラウンドのスタート時刻ならびに組合せが発表された後に 第2ラウンドまでの競技失格者等が出て、60位タイのストローク数に変更があった場合で あっても第3ラウンド以降に進出する選手は追加しない。
出場人數	132名
出場選手	アマチュア、プロフェッショナル（日本ツアー、アジアンツアー、ワールドランキング）出場有資格者
テレビ放映	地上波 フジテレビ系全国ネット 9月23日（土） 14:35～15:50 9月24日（日） 16:05～17:35



賞金・優勝副賞・特別賞

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP
DIAMOND CUP GOLF

賞金総額

¥150,000,000

優勝賞金

¥30,000,000



優勝副賞

OUTLANDER
PHEV

提供：三菱自動車

アウトランダーPHEV S Edition

提供：三菱電機

三菱レーザー液晶テレビ REAL 4K(LCD-58LS3)

提供：KIRIN

キリン一番搾り 350ml缶 1年分

特別賞

◆ホールインワン賞
(対象ホール：No.17)

賞金 ¥3,000,000

提供：三菱商事

※決勝ラウンド2日間に、対象ホールにてホールインワンを達成した選手
(該当者複数の場合、複数均等割)

◆最多バーディー賞

賞金 ¥1,000,000

提供：三菱食品

※大会4日間を通して、最も多くバーディー以上を獲得した選手
(該当者複数の場合、複数均等割)

◆ドライブイング
ディスタンス賞
(対象ホール：No.6
& No.15)

賞金 ¥1,000,000

提供：三菱倉庫

※大会4日間を通して、対象ホールにて平均飛距離が第1位の選手

◆イーグル賞
(対象ホール：No.18)

賞金 ¥1,000,000

提供：三菱重工

※決勝ラウンド2日間に、対象ホールにてイーグルを達成した選手
(該当者複数の場合、複数均等割)

大会役員

ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF

大会名誉会長
佐々木 幹夫
竹田 恒正
David Cherry

大会会長
福井 澄郎

大会副会長
小林 健

大会名誉顧問

相川 勝重
青木 功
石原 俊爾
磯崎 功典
植野 伸一
垣内 威彦
川口 文夫
北沢 利文
木滑 和生
近藤 正樹
柵山 正樹
佐藤 晴彦
相馬 仁胤
竹増 貞信
豊泉 俊郎
永田 圭司
根岸 秋男
日枝 久
益子 修
松井 明生
宮下 功
宮永 俊一
森山 透
横田 雅文
吉田 淳一
Josh Burak

大会顧問

荒谷 雅夫
飯森 瞳尚
今田 勝之
植村 好貴
榎本 孝一
小倉 正
尾島 祐輔
尾谷 牧夫
小口 正範
佐野 文範
柴山 育朗
相馬 和胤
竹井 勤
谷口 泰規
寺林 努
戸張 捷
長岡 孝
西貝 昇
萩原 稔
服部 俊彥
早川 治良
平岡 昇
廣田 康人
布施 孝之
溝口 まち子
宮川 慶一
村越 晃
村津 敬介
諸戸 精孝
山中 博史
Kyungjae Lee

大会委員

池部 洋二
石田 雅明
伊東 亮
伊藤 信雄
大野 知法
大場 英幸
加賀 保弘
亀井 秀和
喜多 隆
木村 伸児
久保 人司
後藤 浩之
小山 典孝
齊藤 啓介
関 邦彦
寺田 孝志
判治 孝之
宮崎 純
米田 雅行
渡辺 明彦

大会事務局長
大林 直樹

競技役員

◆ ゼネラルプロデューサー
戸張 捷
◆ トーナメントプロデューサー
山中 博史
◆ トーナメントディレクター
鈴木 富博
◆ チーフコースセッティングディレクター
勝又 正浩
◆ セッティングディレクター
青木 克益
諸戸 清光
◆ チーフフレフェリー
鈴木 淳
◆ レフェリー
荒井 成維
有賀 淳
伊藤 匠
大木 隆
大久保 裕司
小山 俊一
古山 聰
松山 浩晃
Chokchai Boonprasert
Yingsak Hantawongs

◆ 協力委員

多勢 リサ



詹世昌が、大逆転で日本初優勝！

セン・セシヨウ(台湾)



大阪府茨木カントリー倶楽部西コースで行われた昨年の大会。17歳の新鋭パチャラ・コンワットマイ(タイ)が3日目トップで注目を集めた中、6打差の13位で最終日を迎えた詹世昌セン・セシヨウ(台湾)が、8バーディー、ノーボギーの62で回り、通算10アンダーで日本ツアー初優勝を果たした。

1st
Round

小平智が首位発進。
1打差に今平周吾がつける。

ツアー通算3勝の小平智が、好調なアプローチとパットで7バーディー、1ボギーの64でまわり、単独首位発進。1打差の2位にOUT29の好スコアをマークした今平周吾、2打差の3位には平塚哲二、アダム・ブランド、岩本高志ら6人がついた。谷原秀人は3アンダー9位、池田勇太は12位発進となった。

3rd
Round

17歳パチャラ首位をキープ。
小池一平が1打差2位に。

タイの新鋭17歳のパチャラ・コンワットマイが、3バーディー、2ボギーの69でまわり、スコアを一つ伸ばし、通算8アンダーで単独首位を守った。1打差の2位に小池一平がつけ、42歳開催地地元の山下和宏が5バーディー、4ボギーで3打差で3位に、優勝をうかがえる位置についた。一口2戦目の星野陸也は74でまわり、2位から13位に後退した。

2nd
Round

タイの新鋭パチャラ首位に。
20歳星野陸也、2位浮上。

日本ツアー初優勝を目指すタイの新鋭17歳パチャラ・コンワットマイが、5バーディー、1ダブルボギーの67でまわり、通算7アンダーで単独首位に立った。マンデー予選で出場権を勝ち取ったプロ転向ツアーア2戦目の20歳の星野陸也が、1イーグル、3バーディー、1ボギーの66をマークし、通算6アンダーで12位タイから首位と1打差2位タイに急浮上した。

Final
Round

アジア枠から出た詹世昌が
自己ベスト 62 で逆転 V

首位に6打差の13位タイから出た台湾出身詹世昌が、13番20ヤードのバンカーショットを直接入れ、続く14番の連続バーディーで、ついに首位をとらえた。先に、通算10アンダーで上がり、追いかけるべき最終組がスコアを崩し、そのまま2打差で逃げ切った。6打差からの大逆転V。2位に小池一平、3位に山下和宏、パチャラ・コンワットマイは4位タイに終わった。



歴代の優勝者たち - Past Champions -

アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ

ダイヤモンドカップゴルフは、1969年に「ダンロップトーナメント」としてスタートし、1977年に「三菱ギャラントーナメント」に生まれ変わり、この年から毎年日本全国の名門コースを会場とするサークル形式で開催されています。

その後、幾度か大会名称が変わりましたが、2010年からは「ダイヤモンドカップゴルフ」として開催されており、48回の開催実績を誇る歴史ある大会です。



一方、アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップは2000年からアジアパシフィックオープンとして開催されるようになりました。2002年から2007年までは開催されませんでしたが、2008年から再スタートし、アジアツアーエンターテイメントにも組み込まれており、日本とアジアの両ツアーから選手が出場するほか、アジア太平洋地域のトップアマチュアも参加する、アジア太平洋地域のNo.1ゴルファーを決する大会となりました。

◆アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ パナソニックオープン

- | | |
|--------------|----------------------|
| 2013 川村昌弘 | 茨木カンツリー倶楽部 西コース |
| 2012 小林正則 | 東広野ゴルフ倶楽部 |
| 2011 平塚哲二 | 琵琶湖カントリー倶楽部 栗東・三上コース |
| 2010 B・ジョーンズ | 六甲国際ゴルフ倶楽部 東コース |
| 2009 丸山大輔 | 城陽カントリー倶楽部 東/西コース |
| 2008 谷原秀人 | 茨木カンツリー倶楽部 西コース |

◆アジアパシフィックオープンゴルフ選手権競技キリンオープン

- | | |
|-----------|---------------|
| 2001 片山晋呉 | 茨城ゴルフ倶楽部 東コース |
| 2000 片山晋呉 | 茨城ゴルフ倶楽部 東コース |

1977-2016



◆ダイヤモンドカップゴルフ

- | | |
|-----------|-----------------|
| 2016 詹世昌 | 茨木カンツリー倶楽部 西コース |
| 2015 金庚泰 | 大利根カントリークラブ |
| 2014 藤田寛之 | 大利根カントリークラブ |
| 2013 松山秀樹 | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 2012 藤田寛之 | ザ・カントリークラブ・ジャパン |
| 2011 小田孔明 | 千葉カントリークラブ梅郷コース |
| 2010 金庚泰 | 狭山ゴルフ・クラブ |

◆三菱ダイヤモンドカップゴルフ

- | | |
|--------------|-----------|
| 2009 兼本貴司 | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 2008 P・マークゼン | 東広野ゴルフ倶楽部 |
| 2007 平塚哲二 | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 2006 横尾要 | 狭山ゴルフ・クラブ |
| 2005 I・J・シャン | 東広野ゴルフ倶楽部 |
| 2004 平塚哲二 | 大洗ゴルフ倶楽部 |

◆ダイヤモンドカットトーナメント

- | | |
|--------------|-----------|
| 2003 T・ハミルトン | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 2002 中嶋常幸 | 狭山ゴルフ・クラブ |
| 2001 伊澤利光 | 大洗ゴルフ倶楽部 |

◆三菱自動車トーナメント

- | | |
|-----------|---------------|
| 2000 宮瀬博文 | 蒲生ゴルフ倶楽部 |
| 1999 米山剛 | レイクグリーンゴルフ倶楽部 |

◆三菱ギャラントーナメント

- | | |
|--------------|----------------|
| 1998 谷口徹 | 土佐カントリークラブ |
| 1997 尾崎将司 | 太平洋クラブ六甲コース |
| 1996 尾崎将司 | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 1995 B・ジョーンズ | 阿蘇プリンスホテルゴルフ場 |
| 1994 友利勝良 | 北海道早来カントリークラブ |
| 1993 陳志忠 | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 1992 青木功 | 南部富士カントリークラブ |
| 1991 鈴木弘一 | 能登カントリークラブ |
| 1990 青木功 | ゴールデンバレーゴルフ倶楽部 |
| 1989 尾崎健夫 | 熊本空港カントリークラブ |
| 1988 B・ジョーンズ | 大沼レイクゴルフクラブ |
| 1987 B・ジョーンズ | パインレイクゴルフクラブ |
| 1986 中嶋常幸 | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 1985 B・ジョーンズ | 久米カントリークラブ |
| 1984 安田春雄 | 能登カントリークラブ |
| 1983 中嶋常幸 | 南部富士カントリークラブ |
| 1982 G・マーシュ | 久米カントリークラブ |
| 1981 呂西鈞 | 大日向カントリー倶楽部 |
| 1980 中嶋常幸 | 名神八日市カントリークラブ |
| 1979 中村通 | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 1978 中村通 | 南部富士カントリークラブ |
| 1977 許勝三 | 能登カントリークラブ |

PLAYERS

主な出場予定選手

*選手データは7月30日現在。
ダンロップ・スリクソン福島オープン 終了時。



Shih-Chang CHAN

詹 世昌

ツアー優勝 日本 1勝 '17賞金ランキング 134位

'17ベストフィニッシュ

SMBCシンガポールオープン39位タイ



所属／フリー

1986.6.7生、台湾出身、168cm／67kg

Kyung-Tae KIM

金 庚泰

ツアー優勝 日本 13勝 '17賞金ランキング 19位

'17ベストフィニッシュ

レオパレス21ミャンマーオープン3位タイ



所属／新韓銀行

1986.9.2生、韓国出身、177cm／74kg

Hiroyuki FUJITA

藤田 寛之

ツアー優勝 18勝 '17賞金ランキング 34位

'17ベストフィニッシュ

東建ホームメイトカップ4位タイ

97年の「サントリーオープン」でツアー初優勝。独特のスイングとプレースタイルは完成度を増し、12年には「ゴルフ日本シリーズJTカップ」を含め4勝を挙げ、43歳で初の賞金王獲得。ツアー史上最年長記録を更新。14年は「アジアパシフィック ダイヤモンドカップゴルフ」で逆転優勝。年間3勝を挙げた。ここ2年は優勝から遠ざかっているが大崩れの少ない堅実なゴルフは健在。ペテランの技に期待がかかる。



所属／葛城GC

1969.6.16生、福岡県出身、168cm／70kg

PLAYERS

主な出場予定選手



ダイヤモンド
カップ優勝

*選手データは7月30日現在。
ダンロップ・スリクソン福島オープン 終了時。

APO
WINNER

アジアパシフィック
オープン優勝

Masanori KOBAYASHI

小林 正則

ツアー優勝 3勝

'17賞金ランキング 94位

'17ベストフィニッシュ

SMBCシンガポールオープン35位タイ



2012

所属／フリー

1976.2.14生、千葉県出身、186cm／82kg



Hideto TANIHARA

谷原 秀人

ツアー優勝 14勝

'17賞金ランキング 56位

'17ベストフィニッシュ

SMBCシンガポールオープン9位タイ



2008

所属／国際スポーツ振興協会

1978.11.16生、広島県出身、
178cm／80kg



Masahiro KAWAMURA

川村 昌弘

ツアー優勝 1勝

'17賞金ランキング 54位

'17ベストフィニッシュ

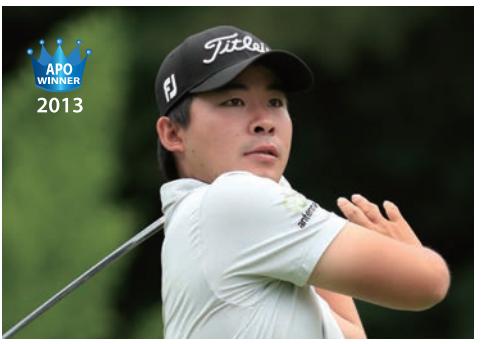
日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯13位タイ



2013

所属／antenna

1993.6.25生、三重県出身、172cm／72kg



13年の「アジアパシフィックパナソニックオープン」で初優勝。
20歳96日での優勝は73年ツアー制度施行後では石川遼、松山英樹に続く日本人選手3番目の年少記録となった。この優勝で得たアジアツアー出場権を生かし、15年はモーリシャスやスイスでもプレー。「全米オープン」でメジャーの舞台も踏んだ。
16年はアジアツアーの『インドネシアマスターズ』で2位に。

PLAYERS

主な出場予定選手

*選手データは7月30日現在。
ダンロップ・スリクソン福島オープン 終了時。



ダイヤモンド
カップ優勝

APC
WINNER

アジアパシフィック
オープン優勝

池田 勇太

Yuta IKEDA

ツアー優勝 16勝 '17賞金ランキング 47位

'17ベストフィニッシュ

長嶋茂雄 INVITATIONALセガサミーカップ4位タイ

09年に「日本プロ」を含むシーズン4勝をマークし、10年にも4勝をあげた。13年にJGTOの選手会長に最年少で就任した。16年には目標に掲げ続けてきた賞金王の座を年間3勝を挙げてつかみとった。最終的には史上4人目の年間2億円突破。最優秀選手にも輝いた。また、リオ五輪にも出場。3アンダー、21位の成績を残した。



所属／フリー

1985.12.22生、千葉県出身、176cm／76kg

小池 一平

Ippei KOIKE

ツアー優勝 0勝 '17賞金ランキング 126位

'17ベストフィニッシュ

関西オープンゴルフ選手権競技28位タイ

08年のプロ入り後、15年には地元・山梨開催の「ISPSハンダグローバルカップ」で自身初のトップ10となる4位にはいり、初シードをつかむ。16年は「アジアパシフィック ダイヤモンドカップ」で3日目を終えて2位。初体験の最終日最終組で69をマークし、2位を守り切った。賞金ランクは大幅上昇。今年は初優勝を目指す。



所属／境川CC

1985.7.14生、山梨県出身、175cm／75kg

時松 隆光

Ryuko TOKIMATSU

ツアー優勝 1勝 '17賞金ランキング 55位

'17ベストフィニッシュ

関西オープンゴルフ選手権競技 8位タイ

12年にプロ転向。13年の「関西オープン」で5位フィニッシュし、初トップ10入り。14年の「インドネシアPGA選手権」では2日目に初首位を経験した。16年は7月に地元開催のチャレンジ競技「ジャパンクリエイトチャレンジin福岡雷山」で初優勝を飾る。さらにこの優勝で出場権を得た「ダンロップ・スリクソン福島オープン」で見事に優勝。初シードをつかみ取った。



所属／筑紫ヶ丘GC

1993.9.7生、福岡県出身、168cm／75kg

PLAYERS

主な出場予定選手

*選手データは7月30日現在。
ダンロップ・スリクソン福島オープン 終了時。



Yusaku MIYAZATO

宮里 優作

ツアー優勝 5勝 '17賞金ランキング 2位

'17ベストフィニッシュ

中日クラウンズ 優勝、
日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯 優勝

数々のアマチュアタイトルを獲得し、11年目、2013年の「日本シリーズ」でついに初優勝を飾ると、14年は国内開幕戦の「東建ホームメイトカップ」で2勝目。15年にもシーズン1勝し、賞金ランクでも2位に入った。16年は選手会長にも就任し、初出場の『全米オープン』では23位に入り、存在感を示した。今年度はすでに2勝を挙げている。



所属／フリー

1980.6.19生、沖縄県出身、170cm／70kg

Yosuke TSUKADA

塚田 陽亮

ツアー優勝 1勝 '17賞金ランキング 181位

'17ベストフィニッシュ

関西オープンゴルフ選手権競技43位タイ

08年にプロ転向。アジアでも戦いながら実力を上げ、12年にはチャレンジツアーで5位に入りレギュラーツアーの出場資格を掴んだ。ツアーデビューから7年が過ぎた16年、ついにつかみ取った初優勝は「日本ゴルフツアーチャンピオンシップ」という大きなタイトルだった。4打差12位で迎えた最終日に66を叩き出しての逆転劇だった。ツアー屈指の飛距離が魅力のプレーヤー。今季はさらなる飛躍が期待される。



所属／ホクト

1985.5.24生、長野県出身、173cm／80kg

Shingo KATAYAMA

片山 晋呉

ツアー優勝 30勝 '17賞金ランキング 80位

'17ベストフィニッシュ

日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯13位タイ

00年には初の賞金王の座に、04年からは3年連続賞金王。07年には日本タイトル4冠も達成。08年には史上7人目の永久シード選手に。01年「全米プロ」で4位タイに入り、09年には「マスターズ」でも4位に。13年5年ぶりとなる勝利をあげ、14年、15年と1勝をマーク。16年はリオ五輪出場に「マイナビABCチャンピオンシップ」で史上6人目の通算30勝と次々に新たな歴史を刻んでいる。



所属／イーグルポイントGC

1973.1.31生、茨城県出身、
171cm／70kg

PLAYERS

主な出場予定選手

*選手データは7月30日現在。
ダンロップ・スリクソン福島オープン 終了時。



Satoshi KODAIRA

小平 智

ツアー優勝 4勝 '17賞金ランキング 8位

'17ベストフィニッシュ

日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯3位タイ
日本ゴルフトーナメント 森ビルカップ Shishido Hills3位タイ

13年は「日本ゴルフトーナメント」で単独首位から逃げ切り勝ち。ツアー初優勝をビッグタイトルで飾った。14年にも1勝を挙げ、15年には「日本オープン」制覇している。16年は初日91位と出遅れた「プリヂストンオープン」で2日目から66、62、67と猛チャージをかけて大逆転。通算4勝目を挙げた。



■ 所属／Admiral ■ 1989.9.11生、東京都出身、172cm／70kg

Kazuhiko YAMASHITA

山下 和宏

ツアー優勝 0勝 '17賞金ランキング 57位

'17ベストフィニッシュ

長嶋茂雄 INVITATIONALセガサミーカップ19位タイ

9年連続でシードを維持しているが勝利の美酒はまだ味わっていない。11年の「日本ゴルフトーナメント」では初めて首位で最終日を迎えたが15位に終わっている。15年の「関西オープン」でも首位で最終日とチャンスを迎えたが9位に終わった。16年は「プリヂストンオープン」3日目に63をマークして2打差の3位に浮上、最終日最終組に挑んだが勝利をつかみ取れなかった。今年こそは初優勝をつかみ取りたい。



■ 所属／ザ・サイプレスGC ■ 1973.11.5生、大阪府出身、178cm／70kg

Toshinori MUTO

武藤 俊憲

ツアー優勝 6勝 '17賞金ランキング 48位

'17ベストフィニッシュ

中日クラウンズ6位タイ

06年の「マンシングウェアオープンKSBカップ」で逆転して初優勝を飾った。09年「レクサス選手権」、11年「ダンロップフェニックス」ではそれぞれ爆発的なスコアでの逆転劇が多い。12年「関西オープン」では完全優勝を果たしている。15年には「ISPSハンダグローバルカップ」で3季ぶりのツアー優勝。16年はシーズン2度のアルバトロスをマークするという快挙を達成。



■ 所属／フリー ■ 1978.3.10生、群馬県出身、173cm／76kg

PLAYERS

主な出場予定選手

*選手データは7月30日現在。
ダンロップ・スリクソン福島オープン 終了時。



WINNER

CROWN

WINNER

WINNER

CROWN

アジア太平洋の国と地域をゴルフでつなぐ。

アジア太平洋ゴルフ連盟
Asia-Pacific Golf Confederation

1962年、川奈GCで世界アマチュアゴルフチーム選手権が行われました。その際、フィリピンのマニュエル・ディンド・ゴンザレス氏から日本・台湾・フィリピンの3カ国による対抗戦の提案を受け、当時のJGA副会長野村駿吉氏と台湾の代表者が協議。その結果、翌1963年にフィリピンで日本、台湾、フィリピンによる第1回アジアアマチュアゴルフチーム選手権が開催されました。アジア太平洋ゴルフ連盟(APGC)は、この大会の開催を機に、ゴルフの普及と発展を目的とした統括機関として1963年に発足しました。

現在ではアジア太平洋地域の41団体が加盟。加盟団体並びに世界の代表団体とゴルフを通じてフレンドシップを深めること、国際ゴルフ連盟(IGF)とも連携して加盟の国と地域のゴルフの発展を促すこと、R&AならびにUSGAの定めるゴルフ規則が加盟の国と地域で遵守されるよう促すことを目的としています。

APGCは本大会をはじめ、アジア太平洋アマチュアゴルフ選手権、アジア太平洋VSヨーロッパ選抜マッチプレー選手権、アジア太平洋女子選抜VSヨーロッパ女子マッチ選抜、アジアアマチュア/パシフィック選手権を開催しています。

加盟団体

オーストラリア、
アメリカ領サモア、
バーレーン、
バングラデシュ、
ブータン、カンボジア、
中国、台湾、クック諸島、
フィジー、グアム、香港、
インド、インドネシア、
イラン、イラク、日本、
ヨルダン、韓国、
キリギスタン、ラオス、
レバノン、マカオ、
マレーシア、モンゴル、
ミャンマー、ネバール、
ニュージーランド、
オマーン、パキスタン、
パプアニューギニア、
フィリピン、カタール、
サモア、サウジアラビア、
シンガポール、ソロモン、
スリランカ、タイ、
アラブ首長国連邦、
ベトナム

■ 三菱商事はAPGC主催のAPGC Junior Championship Mitsubishi Corporation Cupに協賛して、
アジア太平洋地域のジュニアゴルファーの育成も支援しています。



APGC Junior Championship Mitsubishi Corporation Cup 2016

本大会は主催にアジア太平洋ゴルフ連盟、共同主管にアジアンツアーガ加わり、
アジア太平洋地域のトッププロ・トップアマを迎えた国際大会として実施されます。



アジア&ヨーロッパを主戦場とする強者たち アジアンツアーの主な出場予定選手 ①

本大会は主催にアジア太平洋ゴルフ連盟、共同主管にアジアンツアーが加わり、
アジア太平洋地域のトッププロ・トップアマを迎えた国際大会として実施されます。

アジアンツアーとは

2004年にスタートした「アジアンツアー」は、昨シーズン16の国と地域で24試合を開催し、賞金総額は約4000万USドル。大会の中には、日本、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、南アフリカの各ツアーよりの共同で開催される14試合が含まれ、世界中のプロゴルファーが参戦しています。



D.リップスキー

David LIPSKY

- ◆ ツアー通算勝利数: 2勝
- ◆ 2017年の主な戦績
メイバンク選手権マレーシア 2位



SSP.チャウラシア

S.S.P CHAWRASIA

- ◆

- ◆ ツアー通算勝利数: 6勝
- ◆ 2017年の主な戦績
ヒーローインディアンオープン 優勝



P.コンワットマイ

Phachara KHONGWATMAI

- ◆

- ◆ ツアー通算勝利数: 0勝
- ◆ 2017年の主な戦績
ワールドスーパー6 パース 2位
SMBCシンガポールオープン
2位T



G.グリーン

Gavin GREEN

- ◆ ツアー通算勝利数: 0勝
- ◆ 2017年の主な戦績
Yeangder ヘリテージ 2位
ヒーローインディアンオープン 2位



P.マークセン

Prayad MARKSAENG

- ◆

- ◆ ツアー通算勝利数: 16勝 [日本6勝]
- ◆ 2017年の主な戦績
SMBCシンガポールオープン 優勝



C.ピジェム

Carlos PIGEM

- ◆

- ◆ ツアー通算勝利数: 1勝
- ◆ 2017年の主な戦績
レオパレス21ミャンマーオープン
2位

※データは2017年7月30日現在。



アジア&ヨーロッパを主戦場とする強者たち アジアンツアーの主な出場予定選手 ②



AUS

T. シノット

Todd SINNOTT

- ◆ ツアー通算勝利数: 1勝 [日本1勝]
- ◆ 2017年の主な戦績
レオパレス21ミャンマーオープン 優勝



THA

J. ジェーンワタナノンド

Jazz JANEWATTANANOND

- ◆ ツアー通算勝利数: 1勝
- ◆ 2017年の主な戦績
バシュンダラ・バングラデシュオープン 優勝



IND

A. ラヒリ

Anirban LAHIRI

- ◆ ツアー通算勝利数: 7勝
- ◆ 2017年の主な戦績
ザ・メモリアルトーナメント 2位T



PHL

J. パグンサン

Juvic PAGUNSAN

- ◆ ツアー通算勝利数: 1勝
- ◆ 2017年の主な戦績
SMBCシンガポールオープン 2位T



THA

P. ピッタヤラット

Panuphol PITTAYARAT



IND

S. カプール

Shiv KAPUR

- ◆ ツアー通算勝利数: 0勝
- ◆ 2017年の主な戦績
タイランドオープン 4位 / バシュンダラ・バングラデシュオープン 4位T



MAS

N. ファン

Nicholas FUNG

- ◆ ツアー通算勝利数: 1勝
- ◆ 2017年の主な戦績
クイーンズカップ 優勝



THA

P. サクサンシン

Poom SAKSANSIN



THA

R. ワナスリチャン

Rattanon WANNASRICCHAN

- ◆ ツアー通算勝利数: 2勝
- ◆ 2017年の主な戦績
タイクソリューションズ・マスターズ 優勝

※データは2017年7月30日現在。

みずまき・よしのり 水巻善典
PROFILE

1958年8月27日生まれ、A型、東京都出身
鳴尾ゴルフ倶楽部所属、法政大学卒業
1984年プロ入り、JCBクラシック仙台
よみうりオープンなどツアー通算7勝
米PGAツアーでも活躍し、日本でシード権を獲得
シニアツアーでも去年、福岡シニアオープンを制し
2011年桜原温泉ゴルフ倶楽部シニア以来の
2勝目をあげる



スコットランドのリンクスを
思わせるような、
ターゲット・ゴルフを
要求するコース。

アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ
ダイヤモンドカップゴルフ2017の舞台は、
カレドニアン・ゴルフクラブ。
カレドニアンの特徴はリンクスのコースと近代型戦略思想を
ミックスしたモダンクラシックスタイルである。
そして戦略型コースの特徴は、蓮の葉をつなげた変化に富む
グリーンを中心に、バンカーや池、
マウンドが巧みに配置され、造型の美しさをつくっている。
オーガスター並みの高速グリーンをトッププロはどう
どのように攻略するだろうか。



カレドニアン・ゴルフクラブ 攻略のポイント

(7100Yards Par71)

ショットの正確さとメンタルの強さが勝敗のカギを握る。

FRON_T9
KEY-HOLE | キーホールは
5番・6番・9番

アウトコースでは5番までにバーディーをとっていないと、少しのミスで容易にスコアを落とし、オーバーパーに落ち入り易い。攻め方を間違わず、5番では確実にパーをセーブし、6番ロングホールはバーディーを取りたい。9番はティーショット、セカンドショットとも気を抜けないホール。これら3つのホールをしっかりアレンダーで収めて、後半にターンすることが大切だ。

BACK9
KEY-HOLE | キーホールは
13番・14番

インコースでは、13番と14番がキーホール。ここで連續バーディーを取り15番をパーで切り抜ければ、16番からのラスト3ホールに向けて良い流れができるだろう。このコースは、ターゲットに対してティーショットから正確に打っていける技術を求められる。正確なショットを重ねれば、多くのバーディーを取ることが可能なインコースは、特に攻め甲斐のある9ホールだ。

1 st 418Y
Par4

フェアウェイを左に外すと木が邪魔になるので、ティーショットは右サイド狙い。グリーンは大きく、アンジュレーションも大きいので、どこに乗せるかが非常に大切。バーディーを取るためのポイントとなる、セカンドショットに注目だ。



グリーンを攻略してバーディー発進



2 nd 570Y
Par5

このホールをボギーにしてしまうと流れが悪くなるので、安全確実に攻めてパーセーブはしたいホールだ。セカンドショットをフェアウェイ右にレイアップした場合、3打目はピンそばに乗せバーディーチャンスつけたい。ここではショートアイアンでの正確なスピントロールが大切。



ボギーを打ってはいけないロングホール



3 rd 204Y
Par3

右奥に向かって下るグリーンは、中央のリッジを境に左右2面にわかれている。ティーショットでピンがきられている面にのせないと3パットの危険もある。クラブ選択や正確なティーショットに注目したい。



ティーショットの落としどころが大事



4 th 400Y
Par4

セカンド地点、フェアウェイ右にある“デザートバンカー”に捕まると思わぬピンチになる可能性がある。ティーショットで確実にフェアウェイをキープできれば、バーディーの確率が高まる。



“デザートバンカー”が、くせ者



5 th 175Y
Par3

複雑なグリーンは、ティーショットを落とす位置に注意。グリーン右手前には傾斜があり、周りの芝も短く刈ってあるため池に向かって転がってしまう。ただし左に逃げると、パッティングのラインが複雑になり、距離の合わせ方が難しい。短いバー3ながら、ダブルボギーの危険も潜んでいる。



複雑なグリーンはダブルボギーの危険も



6 th 560Y
Par5

ティーインググラウンドからゆるやかな打ち下ろしでドライバーをしっかり振れ、2オンでバーディーをとりたいバー5。ティーショットでのプロの迫力満点のドライブショットが楽しめるホールだ。



豪快なティーショットでバーディー狙い



7th 410Y Par4

第1打は距離を抑えても方向性重視。セカンドがフェアウェイから打てさえすれば、十分にバーディーが狙えるホールだ。ただし、2段グリーンの奥にピンがある場合は、より正確な距離感が問われる。



正確なコントロールでバーディー狙い



10th 420Y Par4

ティーショットは、広めのフェアウェイ左狙い。グリーンが大きく、手前から40ヤード以上あるので、距離をしっかり合わせたセカンドが打てるかどうかがポイントになるだろう。しっかりとバーディーを取つ流れに乗りたいホールだ。



インコースをバーディーでスタート



8th 474Y Par4

フェアウェイが左に広く、ドライバーを思い切って振るので、プロには距離の割に長さを感じないホールだろう。セカンドショットは全体的に受けているグリーンのセンターに乗せて確実にパーセーブを。チャンスがあればバーディー奪取といきたいホールだ。



ドライバーで距離を稼ぐ



11th 429Y Par4

ティーインググラウンドからの景色は狭く見えるが、打ち下ろしのうえにフェアウェイが広いので気持ちよくティーショットできる。セカンドは奥行が無いグリーンに距離をしっかり合わせ、ピンそばに乗せられれば連続バーディーが狙える。



セカンドで距離を合わせ連続バーディー



9th 440Y Par4

緩やかな上りが続くため、距離の割には難しく、無理ができないホール。グリーンは手前が下がっているものの大きいので、グリーンセンターに乗せて、2パットでしっかりパーは取りたいホール。しかし奥の凹みには注意が必要だ。



距離の割に難しいミドルホール



12th 220Y Par3

距離たっぷりのホールでクラブ選択が大事。グリーン手前の馬の背になっているところから奥にリッジが走り、グリーンはそこで左右に分かれ。ピンが右にある場合の寄せは問題ないが、左側は上から落として止まるボールが打てないと左バンカーからが難しくなる。



ショットの正確性がカギ



13th 407/340Y Par4

キャリーで250ヤードを超える場合は、右の木から池越えを狙える。ピンが右奥に切っているとき以外は、比較的のバーディーチャンスに寄せやすい。ティーショット、セカンドショットも視界に入る池のプレッシャーに負けず、攻めるプロのショットは見応えがあるだろう。



池のプレッシャーに負けず攻める



14th 392Y Par4

ティーショットは250ヤード地点の6つのバンカーに囲まれたフェアウェイが狙いどころだ。グリーンがセンターから左右に分かれているので、それぞれの面面を意識してピンポイントで攻めれば、バーディーチャンスに。コントロールショットがポイントになる。



飛距離より正確性がポイント



15th 498/470Y Par4

細長いフェアウェイは、プロにとっては目標ができるので打ちやすさもある。グリーン周りのクリークが効いており、セカンドショットがフェアウェイ以外だと、ピンをデッドで狙えない。しっかりとパーセーブすることがポイントになる。



グリーン周りが難しい名物ホール



16th 343Y Par4

短いパー4ではあるものの、このコースの特徴である“ターゲット・ゴルフ”が求められるホールだ。ティーイングランドからおよそ240ヤードで球を止め、ウェッジ・コントロールでワンピン以内に寄せられるかがプロの技の見せどころだろう。



ターゲット・ゴルフを標榜するホール



17th 195Y Par3

ピンの位置によって、クラブが3番手変わるほど縦に長いことが特徴的な2段グリーンのショートホール。方向性を重視し、狙いをピンのラインに合わせるか、左右に出すか。選手それぞれが持つ技術とクラブ選択がポイントになる。



ピンの位置により攻略法が変わる



18th 545Y Par5

ティーショットは250ヤードで池を超えるのでプロには気にならない。セカンドショットでグリーンを狙うには、グリーン奥行が狭いのが気になるが、イーグル、バーディーを取りたい追っている選手は、ピンに対し、果敢に攻めて行く勇気が求められる。



勝負をかけたショットに注目





アジアパシフィック ダイヤモンドカップゴルフ チャリティ活動への取り組み

～チャリティ活動を通じて社会に貢献できる大会を目指して～

アジア太平洋地区のナンバーワンゴルファーを決定する舞台、「アジアパシフィック ダイヤモンドカップゴルフ」ですが、チャリティ活動を大会の大きな柱に据えています。チャリティ活動には、主催者、協賛社をはじめ、出場選手、開催コース、ギャラリーの皆様など、本大会に関わる全ての方々のご協力をいただいておりますが、長年にわたり培ってきたチャリティの心を、ますます大きく育んでいきたいと思っております。

ジュニアゴルファーの育成支援

「アジアパシフィック ダイヤモンドカップゴルフ」は、2020年に開催されるオリンピック東京大会での日本選手の活躍を期待し、将来のゴルフ界を担っていくジュニアゴルファーの育成をサポートしてまいります。さらに本大会では、公益財団法人日本ゴルフ協会を通じ、さまざまなジュニア育成活動を支援してまいります。

今大会期間中の土曜日には、地元の小学生を対象に、出場選手がコーチを務める「ジュニアレッスン会」を開催します。初めてクラブを握る子どもから大人顔負けのジュニアまで、多くの子どもたちにゴルフの楽しさを味わっていただきます。

昨年12月22日には、前回大会で集まったチャリティ金の中から、公益財団法人 日本ゴルフ協会にジュニアゴルファー育成に対する助成金として200万円を、またジュニアオープンゴルフ選手権(英国)日本代表選手の派遣費用として100万円の、合計300万円を寄贈させていただきました。

ジュニアオープンゴルフ選手権は、全英オープンの開催にあわせて、英国で隔年開催されるジュニアゴルファー



写真左から：佐々木幹夫 大会名誉会長、竹田恒正 日本ゴルフ協会会長、福井澄郎 大会会長



の国際大会で、世界60カ国から選出された16歳以下の男女が出場します。2016年大会には日本から佐渡山理莉(7位)と池田悠希(12位T)が出場しましたが、同大会ではこれまで、小西健太(2010年)と柏原明日架(2012年)が優勝を飾っています。



蘭田 峻輔プロ、判治 孝之(三菱商事広報部長)

環境保全への取り組み

自然を守り、資源を育てる環境保全活動では、一般社団法人日本ゴルフツアーミュージアム(JGTO)が取り組む地球環境問題プロジェクト「はじめの一歩！」のECOパートナーとして支援をおこなっています。

「はじめの一歩！」とは、ゴルフトーナメントを通じて地球の環境問題を考えるプロジェクトです。これまで、ゴルフトーナメントにおけるカーボンオフセットや温室効果ガス削減の取り組みを行なうほか、長野県飯田市にある「ゴルフの森」と名付けた森林の整備活動を行っており、2010年には第8回「日本環境経営大賞」の環境価値創造部門の優秀賞にあたる環境価値創造賞を受賞しています。

地元の皆様への貢献活動

開催地への貢献も、「アジアパシフィック ダイヤモンドカップゴルフ」の大きなテーマです。トーナメントは地元の自治体や皆様のご協力がなくては決して開催することはできません。

今回も、地元の皆様にご協力を頂き、また大会からも様々な機会を通じて、開催地、カレドニアン・ゴルフクラブの地元自治体である千葉県山武郡横芝光町の皆様へさまざまなかたちで貢献させていただきます。

例えば、社会勉強の場の提供ということで、市内の小学校に通う児童の皆さんをトーナメント会場へ招き、試合や練習場の見学、選手への質問コーナーなどの「トーナメント見学」に加え、メディアセンターでスポーツ報道の仕事を見学し、トーナメントで使用しているスコア一覧表をタブレットに入力して具体的に体験してもらう「校外学習プログラム」も行なう予定です。

また、チャリティ活動を通じて社会に貢献できる大会を目指して、開催2001年大会で「ダイヤモンドカップチャリティ基金」を立ち上げ、2010年からはジュニアゴルファー育成への支援と環境保全活動への支援を大きな柱としつつ、開催地域へのチャリティや、その年々で時勢が必要としている支援へのチャリティも行っています。

2011年東日本大震災の復興支援チャリティを始め、2015年茨木県大雨災害義援金、2016年熊本地震義援金など、その時勢が必要としていることに対してチャリティを行なっています。



会場でのチャリティ活動にぜひご参加ください

トーナメント会場には、選手のサイン入りキャップなど大会オリジナルグッズを販売する「チャリティバザー」、お気軽にご参加いただける「チャリティーアプローチ」をご用意致しております。皆様のご協力で、「アジアパシフィック ダイヤモンドカップゴルフ」のチャリティ活動をますます充実させていきたいと存じますので、会場内のチャリティコーナーへどうぞお越しください。





ASIA-PACIFIC OPEN GOLF CHAMPIONSHIP DIAMOND CUP GOLF

2017 9.21 THU 22 FRI 23 SAT 24 SUN

